

## 略歴と業績

2023年9月20日現在

氏名： 水谷 夏樹 (Mizutani Natsuki)  
 所属： 大阪産業大学 工学部 都市創造工学科  
 〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1  
 TEL: 072-875-3001 / FAX: 072-875-5044  
 Email: mizutani (at) ce.osaka-sandai.ac.jp



## 学歴：

1994.3 岐阜大学工学部土木工学科卒業  
 1996.3 岐阜大学大学院工学研究科博士前期課程修了  
 2001.3 岐阜大学大学院工学研究科博士後期課程修了，博士（工学）

## 職歴：

1996.4－1998.3 (株) アルファ水工コンサルタンツ 技師  
 1998.4－2001.3 日本学術振興会 特別研究員 DC1  
 2001.4－2004.3 国土交通省 国土技術政策総合研究所 任期付研究官  
 2004.4－2007.3 大阪産業大学 工学部都市創造工学科 助教授  
 2007.4－2011.3 大阪産業大学 工学部都市創造工学科 准教授（名称変更）  
 2008.4－2009.3 Cornell University, CEE, Visiting Researcher  
 2011.4－ 大阪産業大学 工学部都市創造工学科 教授

## 研究費：

1998－2000 日本学術振興会 科学研究費補助金 特別研究員奨励費  
 2001－2003 文部科学省 科学技術振興調整費 若手任期付支援研究費  
 2005 大阪産業大学産業研究所分野別研究組織  
 2006 日本学術振興会 国際学会等派遣事業  
 2006－2008 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 B（分担）  
 2008－2010 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 C（代表）  
 2008－2010 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 B（分担）  
 2011－2013 大阪産業大学産業研究所共同研究組織（代表）  
 2011－2013 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 C（分担）  
 2013－2015 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 B（代表）  
 2016 大阪産業大学産業研究所分野別研究組織  
 2018－2020 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 C（代表）

—2022	(コロナ等により研究期間延長)
2020	大阪産業大学産業研究所分野別研究組織
2022—2025	日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 C (代表)
2022	大阪産業大学産業研究所一般研究組織
2023	大阪産業大学産業研究所一般研究組織

#### 表彰：

2022.5	土木学会賞論文賞 水理学の系統的な知識を応用したエンジニアリング・デザイン教育のための演習教材の開発, 土木学会論文集 H (教育), Vol.76, No.1, pp.1-8, 2020.
--------	--

#### 指導した学生の表彰：

2020.9	優秀論文賞 ( <a href="https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/211">https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/211</a> ) 野間真拓, マルチコプターを用いた上空の風速計測技術の開発, 土木学会令和2年度全国大会第75回年次学術講演会, 2020.
--------	---

#### 社会貢献活動：

2006.9	可視化情報学会年会 2006 実行委員
2007.6—2009.5	土木学会海岸工学委員会 委員
2011.5—2013.4	土木学会関西支部 商議員
2014.11—2015.2	国土交通省長期海面変動影響検討委員会 委員
2015.4—2016.3	JABEE 審査員オブザーバー
2015.7—2020.11	土木学会海岸工学委員会 津波作用に関する研究レビューおよび活用研究小委員会 WG3 (波力) 委員
2022.12—	土木学会海岸工学委員会 沿岸災害デジタルツイン研究小委員会 WG3 (データ駆動科学) 委員

#### 論文リスト：

##### ○ 原著論文 (査読付き)

1. 野間真拓, 水谷夏樹(2022): アメダス観測データに基づいたニューラルネットワークによる内湾波浪予測, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.78, No.2, pp.I\_109-I\_114.
2. 玉野富雄, 金岡正信, 水谷夏樹, 山下典彦, 荒木重信(2020): 地震時衝撃上下動による杭の力学挙動に関する模型実験, 大阪産業大学論集(自然科学編), Vol.130, pp.1-50.
3. 水谷夏樹, 宮島昌弘(2020): 水理学の系統的な知識を応用したエンジニアリング・デザイン教育のための演習教材の開発, 土木学会論文集 H(教育), Vol.76, No.1, pp.1-8.
4. 水谷夏樹(2019): ドライブッド上を進む段波の内部流速場と時空間平均によるせん断応

- 力の評価について, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_7-I\_12.
5. 水谷夏樹, 梅田尋慈, 池本将大(2017): 構造物に衝突し打ち上がった水塊の落水によって生じる波力特性について, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_919-I\_924.
  6. 宮島昌弘, 水谷夏樹(2017): 転波列流れの流速と周期特性に関する実験的研究, 土木学会論文集 B1(水工学), Vol.73, No.4, I\_727-I\_732.
  7. 水谷夏樹, 宮島昌弘(2015): 津波による衝撃波圧から持続波圧への遷移過程と内部流速場の関係, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_937-I\_942.
  8. 水谷夏樹, 柳 暁輝, 飯野佑樹, 宮島昌弘(2014): 構造物前面の流体现象に着目した津波波圧の特性, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.70, No.2, pp.I\_836-I\_840.
  9. 水谷夏樹, 鍛冶允啓, 宮島昌弘(2013): PIV 計測データに基づいた風波波面上の気流の圧力分布, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.69, No.2, pp.I\_1401-I\_1405.
  10. 水谷夏樹, 鍛冶允啓, 宮島昌弘(2012): 波面上の気流分布に対する対数則分布の適用性に関する考察, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.68, No.2, pp.I\_46-I\_50.
  11. 金岡正信, 水谷夏樹, 荒木重信, 竹原幸生, 玉野富雄(2012): 杭の衝撃支持力実験, 第 10 回地盤改良シンポジウム論文集, pp.239-246.
  12. 金岡正信, 水谷夏樹, 小西秀明, 荒木重信, 竹原幸生, 玉野富雄(2012): 落下重錘接地時の地盤力学挙動, 第 10 回地盤改良シンポジウム論文集, pp.189-194.
  13. 水谷夏樹, 鍛冶允啓, 宮島昌弘(2011): 砕波を伴わない風波の自己調整機能に対する気流の剥離の役割について, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.67, No.2, pp.I\_56-I\_60.
  14. 水谷夏樹, 佐々木宏治, 金岡正信, 松尾菜央, 玉野富雄(2010): 和歌山県指定史跡水軒堤防の工学的機能性に関する研究, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.66, No.1, pp.881-885.
  15. 金岡正信, 玉野富雄, 竹原幸生, 水谷夏樹, 松本修司, 森川勝史(2010): 衝撃載荷時における基礎支持力に関する模型実験, 第 9 回地盤改良シンポジウム論文集, pp.357-364.
  16. 水谷夏樹, Edwin A. Cowen, 宮島昌弘(2009): 風波上の気流の剥離の発生頻度とその要因について, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol.65, No.1, pp.76-80.
  17. 竹原幸生, 玉野富雄, 金岡正信, 水谷夏樹, 石川博喜, 喜田浩巳, 桐山欣之(2008): PIV による脆性物体衝撃破壊挙動の力学解析, 第 8 回地盤改良シンポジウム論文集, pp.271-276.
  18. Oh, S.H., N. Mizutani and K.D. Suh (2008): Laboratory observation of coherent structures beneath microscale and large-scale breaking waves under wind action, *Experimental Thermal and Fluid Science*, Elsevier, Vol. 32, Issue 6, pp.1232-1247.
  19. 玉野富雄, 金岡正信, 竹原幸生, 水谷夏樹, 大島賢吾, 江藤剛治(2008): モルタル・花崗岩におけるクラック伝播速度に関する衝撃実験, 材料, 第 57 巻, 第 1 号, pp.8-11.
  20. 加島寛章, 森信人, 水谷夏樹(2007): 砕波帯における気液混相特性の画像計測, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.56-60.

21. 水谷夏樹, 原大地郎, キム・ビョンイル(2007): 風波発生限界における気液界面の運動量輸送の連続性について, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.136-140.
22. 水谷夏樹(2006): Level set-CIP 法を用いた数値風洞水槽の開発, 海岸工学論文集, 第 53 巻, pp.46-50.
23. 玉野富雄, 金岡正信, 水谷夏樹, 大島賢吾, 竹原幸生(2006): 地震時の断層面における破壊伝播速度に関する基礎的衝撃実験, 第 7 回地盤改良シンポジウム論文集, pp.169-174.
24. Oh, S.H., N. Mizutani, K.D. Suh and N. Hashimoto (2005) : Experimental investigation of breaking criteria of deepwater wind waves under strong wind action, Applied Ocean Research, Vol.27, Issues 4-5, pp.235-250.
25. 水谷夏樹, 橋本典明(2004): 風波が発達した界面下の吹送流特性, 海岸工学論文集, 第 51 巻, pp.71-75.
26. 大塚 直, 竹原幸生, 水谷夏樹, 辻本剛三, 江藤剛治, 高野保英(2003): 風波によるマイクロブレーキング現象の画像計測, 海岸工学論文集, 第 50 巻, pp.86-90.
27. 竹原幸生, 大塚 直, 江藤剛治, 高野保英, 辻本剛三, 水谷夏樹(2003): 画像計測による風波界面での気流・水流の相互作用に関する実験的研究, 海岸工学論文集, 第 50 巻, pp.96-100.
28. 水谷夏樹, Sang Ho Oh, 佐藤裕司, Kyung Doug Suh, 橋本典明(2002): 浅海波浪推算モデル SWAN の風洞水槽実験による比較検証, 海岸工学論文集, 第 49 巻, pp.81-85.
29. 水谷夏樹, 佐藤裕司, 橋本典明(2002) : PIV 計測による白波砕波上の気流の剥離特性, 海岸工学論文集, 第 49 巻, pp.61-65.
30. 水谷夏樹, 安田孝志, 武田真典(2001): 砕波後の流れ場の 3 次元特性に関する実験的研究, 海岸工学論文集, 第 48 巻, pp.36-40.
31. 安田孝志, 水谷夏樹, 板野誠司, 井坂健司, 川越雄太, 小野田 武(2000): 強風下に生成される水面バースト層とその乱流特性, 海岸工学論文集, 第 47 巻, pp.106-110.
32. 安田孝志, 水谷夏樹, 板野誠司, 井坂健司, 西部義彦, 小林智尚(2000): 吹送流の発達と流速分布に及ぼす風波砕波の影響について, 海岸工学論文集, 第 47 巻, pp.441-445.
33. 水谷夏樹, 安田孝志, 武田真典(2000): 砕波後の組織渦構造とエネルギー散逸の関係について, 海岸工学論文集, 第 47 巻, pp.156-160.
34. 水谷夏樹, 安田孝志(2000): リーフ上の孤立波の微小砕波と崩れ波型砕波への遷移過程, 海岸工学論文集, 第 47 巻, pp.151-155.
35. Yasuda, T., H. Mutsuda, N. Mizutani and H. Matsuda (1999) : Relationships of plunging jet size to kinematics of breaking waves with spray and entrained air bubbles, Coastal Engineering Journal, Vol.41, No.3 & 4., pp.269-280.
36. 水谷夏樹, 安田孝志, 小笠原敏記(1999): 孤立波の砕波過程への  $k-\varepsilon$  モデルの適用と乱流構造に関する研究, 海岸工学論文集, 第 46 巻, pp.156-160.

37. 水谷夏樹, 安田孝志, 小笠原敏記, 井坂健司, 多田彰秀, 福本 正(1999): 水面波ジェットと突入後の砕波過程との関係について, 海岸工学論文集, 第 46 巻, pp.121-125.
38. 水谷夏樹, 中島 等(1997): 石狩湾における流れの特性について, 海岸工学論文集, 第 44 巻, pp.366-370.
39. Yasuda, T., H. Mutsuda and N. Mizutani (1997) : Kinematics of overturning solitary waves and their relations to breaker types, Coastal Engineering, Elsevier, Vol.29, pp.317-346.
40. 安田孝志, 陸田秀実, 水谷夏樹, 大屋敦嗣, 多田彰秀, 福本 正(1996): トラップ式ダブルリーフの消波機能 (1), 海岸工学論文集, 第 43 巻, pp.786-790.
41. 安田孝志, 水谷夏樹, 陸田秀実, 多田彰秀(1996): リーフ上の孤立波の砕波形式に及ぼす 2 次波峯と波峯間干渉の影響, 海岸工学論文集, 第 43 巻, pp.76-80.
42. 安田孝志, 陸田秀実, 水谷夏樹, 大屋敦嗣, 多田彰秀, 福本 正(1995): 複合型砕波の砕波後の波形変化と波高減衰特性, 海岸工学論文集, 第 42 巻, pp.61-65.
43. 安田孝志, 陸田秀実, 水谷夏樹, 榊原幸雄(1995): 複合型砕波の運動諸量特性について, 海岸工学論文集, 第 42 巻, pp.56-60.
44. 安田孝志, 陸田秀実, 水谷夏樹, 大屋敦嗣, 多田彰秀(1995): 複合型砕波の発見とその発生条件, 海岸工学論文集, 第 42 巻, pp.51-55.
45. 安田孝志, 陸田秀実, 水谷夏樹(1994): ジェット放出過程の孤立波の水粒子速度場と砕波形式の関係, 海岸工学論文集, 第 41 巻, pp.166-170.

#### ○ 国際会議 Proceedings

1. Kanaoka, M., N. Mizutani, H. Matsukawa, B. Shrestha, K. Takehara and T. Tamano (2013) : Model Tests on Impact Bearing Capacity of Foundations during Impact Loading, The 23th International Offshore and Polar Engineering Conference, Anchorage, U.S., Paper No.TPC-0195.
2. Tamano, T., M. Kanaoka, K. Takehara and N. Mizutani (2009) : Crack propagation velocity of granite by impact splitting tests, The 17th International Conference on SMGE, Alexandria, Egypt, pp.356-359.
3. Takehara, K., T. Etoh, T. Tamano, M. Kanaoka and N. Mizutani (2008): Visualization and PIV analyses on shock-failure behavior of brittle bodies, The 28th International Congress on High-Speed Imaging and Photonics, Sydney, Australia, AT2, ICHSIPS28.
4. Oh, S.H., N. Mizutani and K.D. Suh (2008): Characteristics of coherent structures beneath laboratory-generated breaking wind waves, The 4th International Conference on Vortex Flows and Models, Daejeon, Korea, CD-ROM.
5. Oh, S.H., K.D. Suh and N. Mizutani (2006) : Investigation on the decomposition of turbulent field in the subsurface flows of wind waves, The 30th International Conference on Coastal Engineering, San Diego, U.S., pp.251-260.
6. Oh, S.H., K.D. Suh and N. Mizutani (2005): Vortical structures in turbulent boundary layer

- beneath wind-generated deepwater waves, Asian and Pacific Coasts 2005, Jeju, Korea, CD-ROM.
7. Oh, S.H., N. Mizutani, N. Hashimoto and K.D. Suh (2004): Laboratory observation of breaking criteria of deep-water wind waves, The 29th International Conference on Coastal Engineering, Lisbon, Portugal, Vol.1, pp.428-440.
  8. Mizutani, N. and N. Hashimoto (2003): Air flow characteristics over wind waves from measurements by the PIV technique, The 13th International Offshore and Polar Engineering Conference, Honolulu, U.S., Vol.3, pp.253-257.
  9. Mizutani, N. and T. Yasuda (2002): Wave height decay process due to generation of plunging vortices, The 28th International Conference on Coastal Engineering, Cardiff, U.K., pp.235-246.
  10. Ogasawara, T., T. Yasuda and N. Mizutani (2001): Turbulent structure of the breaking wave process caused by the plunging jet, The 8th International Symposium on Flow Modeling and Turbulent Measurements, IAHR, Tokyo, Japan, pp.381-388.
  11. Isaka, K., T. Yasuda, and N. Mizutani (2001): Characteristics of water surface bursting layer with intensive turbulence generated by winds and breakers, The 8th International Symposium on Flow Modeling and Turbulent Measurements, IAHR, Tokyo, Japan, pp.429-436.

#### ○ 解説・報告・資料

1. 水谷夏樹(2012): 風波波面上の気流の剥離と水面のせん断応力について, 油空圧技術, 643, Vol.51, No.13, pp.30-34.
2. 玉野富雄, 水谷夏樹, 金岡正信(2011): 水軒堤防の工学的機能性, 和歌山県指定史跡水軒堤防発掘調査報告書, pp.73-80.
3. 水谷夏樹(2011): 水面の抵抗係数に及ぼす風波界面上の気流の影響, ながれ, 第30巻, No. 3, pp.205-210.
4. 水谷夏樹, 鈴木 武(2005): 波動場計測における可視化技術について, 国土技術政策総合研究所資料, No.259, 14p.
5. 水谷夏樹, 鈴木 武(2004): 風波が発達する界面下の吹送流特性, 国土技術政策総合研究所資料, No.172, 10p.
6. 水谷夏樹, 鈴木 武(2004): 風波界面上の気流の画像計測, 国土技術政策総合研究所資料, No.171, 8p.
7. 水谷夏樹, 鈴木 武(2004): Micro-breaking に伴う風波界面下の乱流構造, 国土技術政策総合研究所資料, No.170, 7p.
8. 水谷夏樹, Sang Ho Oh, 佐藤裕司, 鈴木 武(2003): 風洞水槽実験による波浪推算モデル SWAN の検証, 国土技術政策総合研究所資料, No.90, 13p.
9. 水谷夏樹, 佐藤裕司, 鈴木 武(2002): 気液混相流同時解法スキームを用いた数値風洞水槽の開発, 国土技術政策総合研究所資料, No.35, 16p.

## ○ 学会発表等

1. 野間真拓, 水谷夏樹(2020): マルチコプターを用いた上空の風速計測技術の開発, 土木学会令和2年度全国大会第75回年次学術講演会, 2020年9月9-11日, オンライン学会, CD-ROM.
2. ニコラス エコ サプトラ, 水谷夏樹(2020): PIV データに基づく非定常段波に作用する底面せん断応力評価の試み, 土木学会令和2年度全国大会第75回年次学術講演会, 2020年9月9-11日, オンライン学会, CD-ROM.
3. 南 智弥, 荒木広周, 中村彩乃, 水谷夏樹(2020): ドライベッド上の桁を乗り越える段波に関する基礎的研究, 土木学会令和2年度全国大会第75回年次学術講演会, 2020年9月9-11日, オンライン学会, CD-ROM.
4. 野間真拓, 水谷夏樹(2020): UAV を用いた水面上の風速鉛直分布の計測, 令和2年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, 2020年5月23日, オンライン学会, CD-ROM.
5. 荒木広周, 中村彩乃, 水谷夏樹(2019): ドライベッド上を遡上する段波の乱流構造, 土木学会令和元年度全国大会第74回年次学術講演会, 2019年9月3日, CD-ROM.
6. 中村彩乃, 荒木広周, 水谷夏樹(2019): 陸上遡上する段波の水粒子速度分布と底面せん断応力の評価, 令和元年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, 2019年5月25日, CD-ROM.
7. 品川拓也, 水谷夏樹(2019): トンネル型人工リーフによる戻り流れをエネルギーに利用するための可能性評価, 令和元年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, 2019年5月25日, CD-ROM.
8. Mizutani, N. and J. Umeda (2018): Relationships between fluid motion and pressure variation by dam-break flows colliding with vertical wall, The 36th International Conference on Coastal Engineering, Baltimore, U.S.A.
9. 梅田尋慈, 水谷夏樹, 池本将大(2017): 2次元鉛直壁に作用する打ち上がった水塊の落水現象に伴う水平波力について, 第72回土木学会全国大会年次学術講演会, 2017年9月13日, CD-ROM.
10. 岡本麻里, 水谷夏樹(2017): 想定南海地震による大阪市内の中小河川に遡上する津波の数値解析, 平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, 2017年5月27日, CD-ROM.
11. 梅田尋慈, 水谷夏樹, 池本将大 (2017): 陸上遡上津波による鉛直壁への衝突波圧に関する統計的検討, 平成29年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, 2017年5月27日, CD-ROM.
12. 辰己諒多, 水谷夏樹, 宮島昌弘(2016): PIV 流速計測データによる圧力の空間分布の算定, 平成28年度土木学会年次学術講演会講演集, CD-ROM.
13. 水谷夏樹(2016): 風洞水槽実験における可視化計測, 2016年日本海洋学会春季大会シン

- ポジウム B (大気海洋間物質輸送と環境災害問題における波浪と界面微細過程の役割—機械工学, 海岸工学, 船舶工学を交えて—), 2016 年 3 月 14 日, 東京大学.
14. 水谷夏樹, 宮島昌弘(2015): 鉛直壁の隅角部に生じる津波の衝突による大規模渦, 可視化情報学会全国講演会 (京都 2015) 講演要旨集, USB.
  15. 水谷夏樹, 飯野佑樹, 柳 暁輝, 宮島昌弘(2014): 家屋に衝突する津波の流体挙動と波圧の関係, 日本流体力学会年会 2014 講演要旨集, USB.
  16. 水谷夏樹, 飯野佑樹, 柳 暁輝, 宮島昌弘(2014): 陸上構造物に対する底面付近の津波波圧特性について, 平成 26 年度土木学会関西支部年次学術講演会講演概要集, CD-ROM.
  17. 水谷夏樹, 鍛冶允啓, 宮島昌弘(2012): 風波界面上の気流の対数則について, 日本流体力学会年会 2012 講演要旨集, USB.
  18. Mizutani, N., M. Kaji and M. Miyajima(2012): On the role of air flow separation for momentum flux transfer at water surface, 18th Conference on Air-Sea Interaction, Boston, U.S.A., AMS Web (<https://ams.confex.com/ams/20BLT18AirSea/webprogram/18AIRSEA.html>).
  19. 小野大介, 水谷夏樹, 宮島昌弘(2011): 背面に壁を有する遊水室内の水面変動特性と入射波の関係, 第 66 回土木学会年次学術講演会講演集, CD-ROM.
  20. Mizutani, N. and E.A. Cowen (2010): The Relationship between Occurrence Frequency of Air Flow Separation over Wind Waves and Statistic Values of Wind Waves, The 6th International Symposium on Gas Transfer at Water Surface, Kyoto, Japan, Program and Abstracts, pp.95-96.
  21. 森信人, 水谷夏樹, 加島寛章(2007): 沿岸域砕波帯における混入気泡の画像計測, 可視化情報学会年会 2007 概要集, A104.
  22. 水谷夏樹, キム・ビョンイル(2007): 水面に作用する気流のせん断応力に関する研究, 可視化情報学会年会 2007 概要集, A103.
  23. 水谷夏樹, キム・ビョンイル(2007): 水面を挟んだ気流と水流のせん断応力の連続性について, 日本流体力学会年会 2007 講演要旨集, CD-ROM.
  24. 滝野雄一, 宮島昌弘, 水谷夏樹(2006): 転波列流れの流速挙動について, 可視化情報, Vol.26, Suppl. No.2, pp.53-54.
  25. 大島賢吾, 金岡正信, 水谷夏樹, 玉野富雄, 竹原幸生(2006): 衝撃力によるモルタル・花崗岩クラック伝播現象の可視化と PIV 解析, 可視化情報, Vol.26, Suppl. No.2, pp.207-210.
  26. 宮島昌弘, 滝野雄一, 宝田治樹, 水谷夏樹(2006): PIV を用いた転波列流れの瞬間流速挙動の紹介, 第 61 回土木学会年次学術講演会講演集, CD-ROM.
  27. 原 大地郎, 水谷夏樹(2006): 風波の初期の発達過程における水面上の気流計測, 第 61 回土木学会年次学術講演会講演集, CD-ROM.
  28. 寺澤泰一, 竹原幸生, 江藤剛治, 辻本剛三, 水谷夏樹(2005): Dean の流関数を用いた風波下流速分布からの波動成分分離の試み, 第 60 回土木学会年次学術講演会講演集, CD-ROM.



29. 大塚 直, 竹原幸生, 水谷夏樹, 江藤剛治, 辻本剛三(2003): 風波によるマイクロブレイキング現象の画像計測, 第 58 回土木学会年次学術講演会講演集, CD-ROM.
30. 竹原幸生, 江藤剛治, 高野保英, 辻本剛三, 水谷夏樹(2003): 風波界面近傍での気流・水流の相互作用に関する画像計測, 第 58 回土木学会年次学術講演会講演集, CD-ROM.
31. 水谷夏樹, 橋本典明(2003): PIV 計測による風波砕波上の気流特性について, 第 52 回理論応用力学講演会論文集, pp.319-320.
32. 水谷夏樹, 橋本典明(2002): 可視化手法による海面上の気流の直接計測, 2002 年度日本海洋学会秋季大会講演概要集, pp.313.
33. 水谷夏樹, 橋本典明(2002): 白波砕波を伴う水面上の気流の PIV 計測, 可視化情報, vol.22, pp.193-196.
34. 水谷夏樹, 安田孝志(2000): 微小砕波の可視化実験, 可視化情報学会全国講演会講演概要集, 札幌, A114.
35. Mizutani, N., T. Yasuda and T. Ogasawara (2000): Turbulent flow structure of solitary wave breaking on a reef, The 27th International Conference on Coastal Engineering, Sydney, Australia, Poster presentation.
36. 水谷夏樹, 安田孝志, 小笠原敏記, 板野誠司(1999): リーフ上の孤立波の砕波特性, 九州大学応用力学研究所研究集会報告「非線形水波および水波と個体境界との相互作用」, pp.20-25.
37. 安田孝志, 陸田秀実, 水谷夏樹(1996): リーフ上の孤立波の砕波形式と波峯間干渉の影響, 京都大学数理解析研究所講究録, 949, pp.244-253.
38. 安田孝志, 陸田秀実, 水谷夏樹, 大屋敦嗣(1995): 複合型砕波とその発生条件, 土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.205-206.
39. 陸田秀実, 水谷夏樹, 大屋敦嗣, 安田孝志(1995): 複合型砕波の水理実験による検証とその波高減衰特性, 土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.203-204.
40. 水谷夏樹, 安田孝志, 陸田秀実(1994): 砕波先端部の運動諸量と砕波形式の関係, 土木学会中部支部研究発表会講演概要集, pp.275-276.

## ○ その他

1. 水谷夏樹(2023): 津波の先端部の挙動について, 日本地震工学会, 津波荷重体系化委員会 (招待講演)
2. 水谷夏樹(2014): リーフ上の孤立波の微小砕波, 今月の Flash (3 月), 可視化情報学会
3. 水谷夏樹(2003): Wave height decay process due to generation of plunging vortices, ソウル大学地球環境工学部特別セミナー (招待講演)
4. 2003 年 5 月, 科学大好き土曜塾, 「波はどこからやってくるの?」の番組制作協力, NHK 教育
5. 2003 年 4 月, NHK ジュニアスペシャル, 「波・驚異のパワー」に出演, NHK 教育

6. 2003年2月, サイエンスチャンネル, 「夢をつむぐ人々, 波の力で航路を照らす, 波力発電装置技術者」に出演, Sky PerfecTV, 科学技術振興機構

以上